

2021年3月31日

住友生命保険相互会社

## フランス国有鉄道が発行するグリーンボンドへの投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、フランス国有鉄道（Société Nationale SNCF SA、以下「SNCF」）が発行するグリーンボンド（以下「本債券」）への投資（約100億円）を決定しました。



© Christophe Recoura /SNCF

SNCFは、フランス政府が株式を100%保有する鉄道会社であり、世界120か国で旅客・貨物輸送およびロジスティクス事業を展開する業界最大手グループです。

SNCFはグループの目標として「すべての人が自由かつ快適に移動できる手段の提供、および、地球の環境保護の促進」を掲げ、これまでもグリーンボンドの発行等を通じて、環境問題の解決に取り組んでいます。

具体的には、2016年から2020年末にかけて、グリーンボンドフレームワークを通して約70億ユーロを投資しており、それらには高速鉄道網や鉄道システムの管理・改善・エネルギー効率化等に資するプロジェクトが含まれます。2016年から2019年までの投資分において見込まれる効果は、今後40年間で2590万トン相当のCO<sub>2</sub>排出量削減に繋がり、これはフランス国内における53,000人以上分のCO<sub>2</sub>排出量に相当します。

本債券についても、同様のプロジェクトに充当される予定であることから、CO<sub>2</sub>排出量の削減、ひいてはSDGs達成に貢献することが期待されます。

<投資概要>

発行体：フランス国有鉄道 (Société Nationale SNCF SA)

(Moody's 格付：Aa3、S&P 格付：AA-、Fitch 格付：A+)

投資金額：120 百万豪ドル (約 100 億円)

年限：15 年

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



住友生命は、「社会になくてはならない保険会社」の実現を目指し、事業活動を通じた SDGs の達成に向けた取組みを進めています。また、ESG 投融資をその主要な取組みの 1 つとして位置づけ、持続可能な社会の実現および中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG 投融資に取り組んでおり、本債券への投資はその一環として行うものです。

今後も、ESG 投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでまいります。

以上